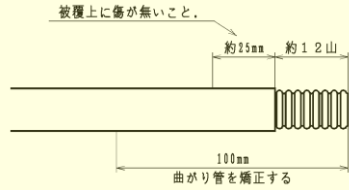


プッシュインパクト® 継手接続要領

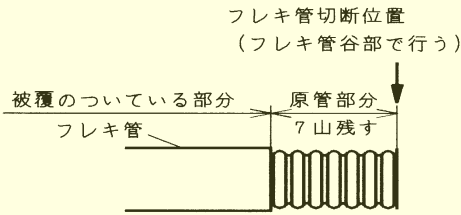
①被覆の剥離

12山程度(8~20A:目安,約50mm;
25A:目安,約70mm)被覆を剥離する。



②原管の切断

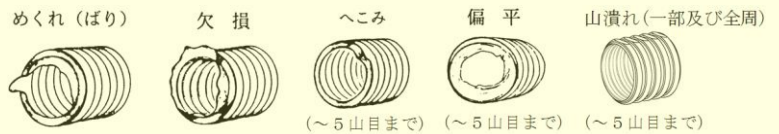
原管を7山残して切断する。
(6山も施工可能です)



③継手接続 (ねじ付の場合)

継手をヘッダー、ガス栓等に
ねじ込んで接続する。

- ⚠️注意 ・はぎ取り前にフレキシ管先端から約100mm部分の曲がりを矯正する。曲がっていると切断不良や挿入不良の原因となります。
- ⚠️注意 ・専用の被覆カッターを使用し、12山程度被覆を剥ぎ取る。他の工具を用いますとフレキシ管に損傷を与え、施工不良や気密不良の原因となります。
- ⚠️注意 ・はぎ取り部から約25mm以内の被覆上に傷がないことを確認すること。傷があると水密性が損なわれる恐れがあります。
- ⚠️警告 ・フレキシ管の一部が切れずに残った場合には、折るようにして切り離す。フレキシカッターは、切断時にフレキシ管とフレキシカッター本体が接触して損傷を与えないものを使用し、切断後、**切断面及び管先端から5山間に めくれ(ばり)、へこみ、偏平、山潰れ等の原管の変形や傷付きが無いことを確認**する。気密部のゴムに傷を付けたり、フレキシ管に変形や傷付きがあると挿入不良及び気密不良の原因となります。
- ⚠️注意 ・被覆が浮いていないことを確認する。被覆が浮いていると挿入不良の原因となります。

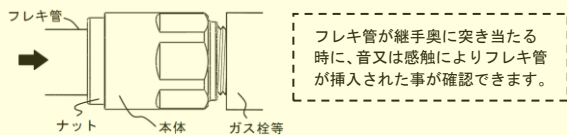


- ⚠️注意 ・フレキシ管を継手に挿入後に、継手をねじ込む場合は、以下の事項を遵守ください。「フレキシ管が真っ直ぐの状態であること」「フレキシ管に引張りや曲げの力が掛かっていないこと」「継手のねじ込み以上に回さないこと」
- ⚠️警告 ・他の部品と接続する管用テーパねじ部にはシール材を使用下さい。使用しないと気密不良の原因となります。
- ⚠️警告 ・接続は、継手本体の六角部にスパナ又はフレキシ管継手レンチ等を使用してください。パイレンチは使用しないでください。また、モンキレンチ又は、モーターレンチを使用する場合は継手六角部とレンチ開口幅にガタツキが無く隙間がなくなるように調整してください。ガタツキがあると継手本体が変形しフレキシ管が接続できない恐れがあります。

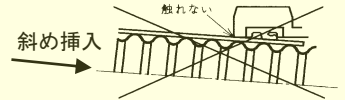
裏面もご参照下さい

④フレキシ管の挿入

フレキシ管を継手奥に突き当たるまで
真っ直ぐ挿入する。

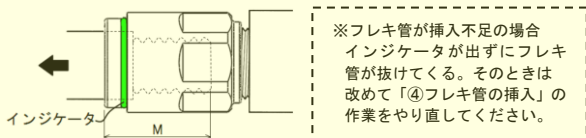


- ⚠️注意 ・フレキシ管がナット内面に触れないよう管軸に対し真っ直ぐに力を加える。過度の斜め挿入はシール部を傷つける恐れがあります。
- ⚠️警告 ・フレキシ管長さに余裕がない状態やテンションがかかった状態で継手に挿入しないでください。斜め挿入や挿入不足などの施工不良および気密不良の原因となります。



⑤接合確認

フレキシ管を「カチッ」という感触がある
ところまで、挿入時と同じくらの力で
真っ直ぐ引張り、インジケータが出ている
ことを確認する。



- ⚠️警告 ・接合確認の際、極端に斜めに引張らないでください。挿入不足の場合でもインジケータが誤って出る可能性があります。
- ⚠️警告 ・接続空間が十分でない狭い場所など、フレキシ管端部を真っ直ぐにして接続できない場合、正常な接続ができずフレキシ管の抜け出しの原因となります。そのような場合は、配管ルートを見直してください。

もし、配管ルートの見直しが困難な場合は、事前に管を接続したあと継手をねじ込む方法、もしくは⑤接合確認後のフレキシ管挿入長さを管理する方法があります。この時のフレキシ管挿入長さ (M) の目安は下表となります。

呼び	8A	10A	15A	20A	25A
接合確認後のフレキシ管挿入長さ (M) の目安	32	32	33	36	50

- ⚠️警告 誤った使用をした場合、死亡を含む重大な人的被害が発生する可能性があります。
- ⚠️注意 誤った使用をした場合、人的被害や物的損害の発生する可能性があります。

<免責事項>

誤った使用方法、取扱上の不注意や風水害、地震、雷などの天災および火災、公害(特殊環境)、塩害、戦争、テロなどの不可抗力、その他、当社責任と認められない損害には、当社は一切責任を負いません。

<都市ガスの接続要領について>

都市ガスに用いる場合は、所轄のガス事業者の定める配管指針にしたがって施工してください。

- ⚠️注意 ・施工完了後はフレキシ管を押し込まないでください。(分解時にフレキシ管先端を変形させる恐れがあります。フレキシ管を再使用する時は「②原管の切断」の作業手順に従い、管の変形部分を切断してください。)
- ⚠️警告 ・インジケータ(分解用リング兼用)は外さないでください。外しますとナットが抜けだし、気密不良の原因となります。
- ⚠️警告 ・ガスを通して(開栓)以降は、継手や管を回転させるなど外力を与えないでください。気密不良の原因となります。
- ⚠️警告 ・燃焼器具取替え時は継手を回転しないでください。また、**継手の再使用を禁止します**。気密不良の原因となります。

